

優秀賞

心の海色

杉本 周 (大学3年生: 京都府)

地球の表面積の約7割を占める広大な「海」であるが、現在世界中のプラスチックゴミが海洋に浮遊し、海を汚染しているという現状がある。川や海岸で捨てられたゴミが沖まで流されることにより、そのゴミを海洋生物が誤飲してしまうという問題事例も挙げられ、生態系に多大な悪影響を及ぼしている。私は神奈川県湘南地域出身であるが、江ノ島付近の海岸にはその場で捨てられたゴミだけでなく、海の向こうから流れ着いたゴミまで存在するという現状を目にしてきた。海だけに限らずこれらのゴミ問題が依然解決できない理由は、ゴミ問題は個人と無関係である、という自分1人ではどうにもできないという認識の誤りがあるからではないのか。

そこで、海洋ゴミ問題に関連したゲームを配信することで、より多くの人に問題を認識してもらうことが可能であると考えた。

主人公(私)は海洋ゴミで覆い尽くされた大洋を漂流しており、海洋生物はほとんど消えてしまった世界に生きている。そんな中、主人公は流されてきたゴミに書かれた謎を発見し、一つずつ解明していく。その謎は海洋ゴミに関する知識を問われた問題であり、クイズ形式となっている。主人公がその謎を解明し、海洋ゴミが減っていくと同時に海の生き物が増えていき図鑑が埋まっていく。そうして全ての謎が解明された時、ゴミのない綺麗な海と、海の生き物が戻ってくるという仕組みである。

このゲームは海岸および地域のクリーンネス推奨に留まらず、実際に目で見て体験するという教育目的も兼ねている。子供たちに挑戦してもらうことによって未来のゴミ問題に対する意識が強くなり、より綺麗な海、街を社会全体で作る、守るという良循環を生み出す可能性があると考えられる。また、海が徐々に綺麗になる変化と、生き物の図鑑が埋まっていくというゲームとしての面白さも楽しめる。より綺麗な海を、地球を目指し、今一度心の中の景色を眺めてみてはどうだろうか。